

土木学会 原子力土木委員会 リスクコミュニケーション小委員会（第2期）
研究討論会会議（第1回）兼第3回小委員会 議事録

1. 日時：2024年6月7日（金）15:10-16:50（研究討論会会議）、16:50-17:30（委員会）
2. 場所：Zoomによるオンライン会議
3. 出席者：奈良委員長、荒川委員、桑垣委員、中村委員、堀口委員、松村幹事長、蛭沢常時参加者、平田京子氏（研究討論会会議のみ）、佐藤清氏（研究討論会会議のみ）

4. 資料

- 資料1 研究討論会打合せ資料（佐藤氏）
- 資料2 第2回小委員会議事録（案）（松村幹事長）
- 資料3 原子力複合防災WGとリスク小委員会との係わり（蛭沢常時参加者）

5. 議事要旨

9月の全国大会において原子力土木委員会主催の研究討論会（タイトル：不確実性の諸相とリスクコミュニケーション）をリスク小委員会が担当することになり、これに向けた第1回目のキックオフ会議をリスク小委員会も兼ねて開催した。

キックオフ会議では、原子力土木委員会研究討論会担当の佐藤氏より、研究討論会の実施要領、過去の実例、今後の進め方等について説明があり、質疑応答により参加者全員で認識を共有するとともに、討論会の進め方、論点等について自由に意見交換を行った。進め方については概ね次のようで合意した。1)①導入、②話題提供、③討議、そして④総括の流れとする。2)①導入の説明および②話題提供の進行は原子力土木委員会委員長の中村委員が行う。3)③討議の座長は奈良委員長が務める。4)④総括は奈良委員長と中村委員が協働して行う。また、論点については、原子力土木委員会委員を対象にしたデルファイ調査で分かったこと（ハザード・安全を伝えたい、双方向コミュニケーションの芽がある）を踏まえた、不確実性の様々な分野での取り扱い、課題、取り組みなどが挙げられる等の意見があった。

後半は小委員会の今後の活動予定について協議した。インタビュー調査は、9月の研究討論会までは時間的な制約が大きいため、10月以降に実施する方向となった。また、規格情報小委員会の複合防災に関するWGとリスクとの係わりについて蛭沢常時参加者より情報提供があり、小委員会設置後も適宜、情報共有しながら意見交換していくこととなった。

6. 今後の予定

研究討論会までに2回程度会議を開催し、話題提供の内容や討議の論点を確認、共有しつつ準備を進める。インタビュー調査を10月以降に順次実施していく。次回小委員会は研究討論会会議を兼ねて7月23日に開催する。

以上